目ざまし時計

電波クロック

取扱説明書

この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用くださいますよう、お願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
この時計によって生じた、いかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。
この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

本製品、またはアフターサービスなどについてご不明な点がありましたら、製品の裏面または底面に表示されている製品番号（品番）をご確認のうえ、下記クロックお客様相談室にお問い合わせください。

（例：KR○○○、NR○○○、BC○○○など）

クロックお客様相談室　0120-315-474

https://www.seikowatches.com/jp-ja/

発売元

セイコーウオッチ株式会社

説明書番号　DKR-111W

必ずお守りください　安全上のご注意

⚠ 警　告　死亡または重傷を負う恐れがある内容

＜アルカリ電池について＞

(1) 充電、ショート、変形、分解、加熱、火中に投入などをしないでください。液漏れや発熱、破裂の原因となります。

(2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合は、きれいな水で洗い流してください。また、目に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

＜梱包用ポリ袋について＞

窒息する恐れがありますので、ポリ袋を絶対にかぶらないでください。

⚠ 注　意　けがをしたり家財に損害を与える恐れがある内容

＜製品の設置場所について＞

落下や転倒により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には本製品を設置しないでください。

＜電池について＞

下記の注意事項を必ず守ってください。電池の使い方を間違えると、液漏れや破裂により、本製品の故障やけがの恐れがあります。

(1) 製品仕様に記載された電池寿命を経過した場合は、本製品がまだ動いていても、新しい電池と交換してください。また、本製品を使わないときは、電池を取り外してください。電池を入れたままにしておくと、寿命の切れた電池からの液漏れなどにより、本製品や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。

(2) 電池は必ず ⊖ 側から入れてください。また、⊕ ⊖ を正しく入れてください。

(3) 付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れや破裂の恐れがあります。

(4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けたりしないでください。

(5) 直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。また、使用済みの電池は速やかに処分するか、幼児の手の届かない所に保管してください。

(6) 本製品が動かないなどの場合、電池の端子が汚れていることがあります。そのときは、やわらかい布で乾ぶきしてください。

(7) 付属の電池は、工場出荷時に同梱された電池です。お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。

(8) 充電式電池や初期電圧が高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

＜分解や改造をしない＞

本製品を分解したり、改造したりしないでください。本製品の故障やけがの恐れがあります。

＜製品と電池の廃棄について＞

お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。

必ずお読みになってからご使用ください

使用上のご注意

- 本製品にはマイコンが内蔵されています。静電気などにより誤動作することがありますが、故障ではありません。誤動作した場合は、リセットボタンを押してください。リセットボタンを押した場合は、時刻などがリセットされます。
- 本製品は日本標準電波仕様のため、海外では電波修正機能は使用できません。
- 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。
- 海外でご使用の場合も日本の電波を受信することがあります。その場合は自動受信を止めて、手動で時刻を合わせてください。

使用場所について

下記のような場所では使用しないでください。本製品や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また、本製品は業務用ではありません。

- 温度が50℃以上になる所や直射日光の当たる所。
  （例）屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が−5℃以下になる所。
  プラスチック製の部品や電池が劣化することがあります。
- ちり・ほこりの多い所。
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
  磁力の影響で、進み・遅れが生じたり、時計が止まることがあります。
- 浴室など湿気が多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など、多くの油を使用する所。
- ビニール系素材の壁、敷物などの上。
  壁や敷物、および本製品が汚れたり傷むことがあります。
- 温度や湿度の変化が激しい所。
  寒い所から暖かい所への移動などにより、結露が生じることがあります。

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などに設置してください。なお、天候、時間帯、建物の影響など、次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。場所を変えてご使用ください。

- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く
- テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリなどの家電製品やOA機器の近く
- 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害が起きやすい所
- 乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
- スチール机など、金属製の家具の上や近く
- その他、電波ノイズを発生させるものの近く

※電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で動作します。

電波クロックについて

■電波時計／電波修正機能とは

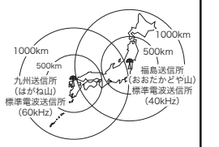
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に時刻を修正・表示します。

■標準電波とは

情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

■電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西2カ所）からおおむね1000km～1200kmです。この製品は40kHz（東・福島送信所）、60kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、設置場所、時計の向き、時間帯、地形、建物の影響などによって受信できない場合があります。



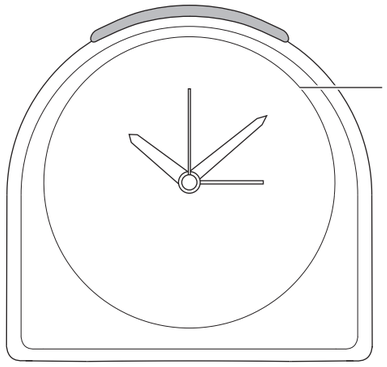
■ご注意

- 電波障害などによって、誤った時刻が表示される場合があります。また設置場所や電波状況によっては受信できないことがあります。そのようなときは、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で動作します。
- 標準電波は、毎時15分と45分から各1分間は一部の時刻情報の送信が中断されます。また、設備のメンテナンスや落雷などの影響により電波の送信が停止（停波）することがあります。停波に関する情報は、情報通信研究機構日本標準時グループのホームページをご覧ください。
  （ホームページアドレス https://jjy.nict.go.jp/）

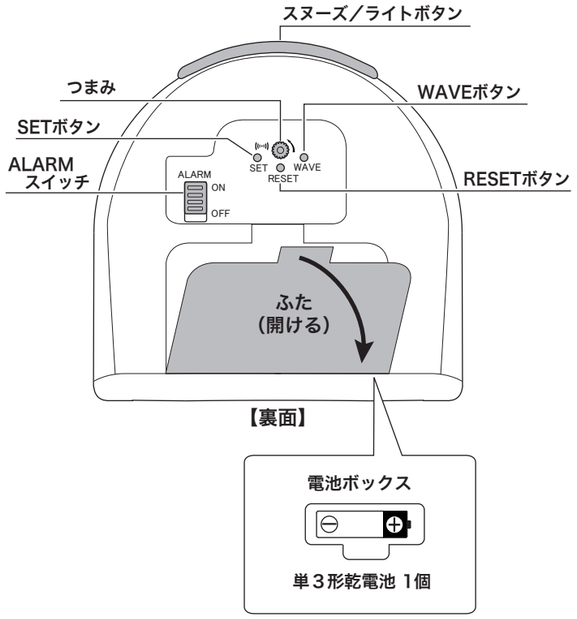
保証・アフターサービス

- 本製品はメーカー保証です。
  保証の内容については付属の保証書をご覧ください。なお、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、販売店がお預かりし、メーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名が捺印された保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品、および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 本製品の修理用部品は、製造終了後３年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは、製品の機能を維持するために不可欠な製品本体の部品です。なお、修理可能な期間は、ご使用条件により異なります。また、修理可能な場合でも、元どおりの精度とならない場合があります。販売店とよくご相談ください。
- 修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品または再生品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 有料修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃など、諸費用をお客様にご負担いただきます。なお、修理代金が標準小売価格を上回る場合があります。あらかじめご承知ください。
- 保証期間中・経過後ともに、修理を依頼されるときは本製品を販売店にご持参ください。販売店で保証が受けられない場合は、クロックお客様相談室にご相談ください。
- お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、保証の対象外となりますので、ご注意ください。
- ご不明な点は、クロックお客様相談室にお問い合わせください。

各部の名称



【正面】



【裏面】

※時計のデザインにより、ボタン、スイッチ、ライトの位置などが異なる場合があります。

付属品

ご使用の前に確認してください。

- 取扱説明書（本書）1枚
- 保証書 1枚
- モニター用電池（単3形乾電池） 1個

※ 付属の電池は、工場出荷時に同梱された電池です。お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池の寿命が切れることがあります。

お手入れについて

- 本体を清掃するときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少量、やわらかい布に含ませてふいてください。その後、やわらかい布で乾ぶきしてください。
- お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどは使用しないでください。また、殺虫剤、ヘアスプレーなどがかからないようにしてください。変色したり、傷が付く恐れがあります。

ご使用方法

① 電池を入れる（単3形乾電池 1個）

本体裏面のふたを開けて、㊀側から電池を入れてください。

注意	**・電池の ㊉ ㊀の向きを間違えないように注意してください。** **・充電式電池や初期電圧の高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。**

② RESETボタンを押す

受信を開始し、現在の時刻に調整されます。
・針が「12 時の位置」で一時停止し、電波の受信を開始します。
・受信に必要な時間は最長約 16 分です。

重要	**電池の交換後は、必ず RESETボタン を押してください。**

※ RESETボタンは先の細いもので押してください。
※ 夜間は昼間よりも受信状態が良くなります。昼間に受信できなかった場合でも、翌日までに自動で受信できることがあります。

参照 詳しくは、裏面の『電波クロックについて』をご覧ください。

受信に成功した場合

「0秒」に合わせて秒針が動き出します。自動で時針と分針が現在の時刻に調整されます。

受信できなかった場合

針の一時停止が解除され、針が動き始めます。このとき、電波の再受信は行いません。

参照 『電波を受信できなかった場合』の手順に従って、場所を変えて再度受信させるか、手動で時刻を合わせてください。

③ 本製品を設置する

本製品を使用したい場所に置いてください。
※窓際など、できるだけ電波を受信しやすい場所に置いてください。

④ アラーム時刻をセットする

つまみを回して、アラームの針を↻方向（反時計回り）に回して、アラーム時刻をセットしてください。

・アラーム時刻は10分間隔で合わせることができます。
・アラームはセットした時刻の5分前から5分過ぎの間に鳴り出します。
例）7時にセットした場合：
6時55分から7時5分の間に鳴りだします。

注意	**つまみを逆方向に無理に回さないでください。破損する恐れがあります。**

⑤ アラームを鳴らす/鳴らさない

[アラームを鳴らす]
ALARMスイッチをONにしてください。
・設定した時刻にアラームが鳴ります。
・ALARMスイッチをONにすると、秒針が「12時の位置」で停止します。
※秒針が停止している間でも、時分針は正しい時刻を表示します。
※リセット後の受信中または手動により電波を受信させている間は、アラームが鳴りません。

[アラームを鳴らさない]
ALARMスイッチをOFFにしてください。
・アラームが完全に止まります。

電波を受信できなかった場合

手動で電波を受信して時刻を合わせる

① 電波状況の良い窓際などへ移動する

② WAVEボタンを長く押す（約3秒）

針が早送りをして、「12時の位置」で停止し、受信を開始します。受信に要する時間は、最長約16分間です。
・ 受信中は針が停止します。
・ 受信できなかった場合、針は元の時刻に戻り、動き出します。場所を変えて、もう一度受信させてください。

手動で時刻を合わせる

電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。

① SETボタンを長く押す（約3秒）

秒針が停止するまで押し続けてください。

② SETボタンを押して時刻を合わせる

・SET ボタンを 1 回押すごとに、分針が 1 分進みます。
・SET ボタンを押し続けると、ボタンを放すまで分針が進み続けます。

③ SETボタンを離す

SETボタンを離すと同時に、秒針が動き出します。
※ 約6秒以上 SETボタンを操作しなければ、自動的に手動時刻調整モードが終了します。

受信結果について

WAVEボタンを1回押すと（2秒以下）、ライトで受信結果を表示します。

ライトの状態	受信結果
点滅（3回）	受信に成功しています。
点灯（3秒）	受信できていません。
消灯	受信中または自動受信機能がOFFです。

自動受信について

毎日7回、自動で電波を受信します。
午前2、3、6、10時および午後2、6、10時の各16分に受信を開始します。
※自動受信のとき、秒針が「12時の位置」に停止することがあります。

自動受信を止めたい場合

海外で使用する場合や、時刻をずらして使用したい場合は、自動受信を止めてください。

① WAVEボタンとSETボタンを同時に長く押す（約5秒）

秒針が早送りします。

秒針が「2時の位置」で停止	自動受信機能ON状態
秒針が「10時の位置」で停止	自動受信機能OFF状態

操作を繰り返すとON⇔OFFの設定が切り替わります。
電波受信中は設定できません。

メモ	・自動受信を止めると、手動受信および受信結果表示はできません。

② 『手動で時刻を合わせる』の手順に従って時刻を合わせる

便利な機能

スヌーズ機能

アラームが鳴っているときにスヌーズ／ライトボタンを押すと、アラームは一度停止し、約 5 分後に再び鳴りだします。

オートスヌーズ機能

鳴っているアラームをそのままにすると、アラームは約 2 分間鳴って、約 5 分間の停止を繰り返します。
※スヌーズ機能・オートスヌーズ機能は、ALARM スイッチを OFF にしない限り、30 ～ 60 分間使用できます。また、12 時間後のアラーム設定時刻に再びアラームが鳴ります。

ライト

スヌーズ／ライトボタンを押すと、ライトが点灯します。

製品仕様 改良のため予告なく変更する場合があります

時 間 精 度 ： 月差±30秒
（電波受信による時刻修正を行わない場合）
（気温25℃で使用した場合）
使用温度範囲： −5℃～50℃
ア ラ ー ム ： ダンダントーン（約5分間スヌーズ）
（だんだんテンポが速くなる電子音）
オートスヌーズ（約2分間鳴って約5分間停止）
※30～60分間使用できます。
アラーム精度： ±5分
使 用 電 池 ： 単3形乾電池 1個
電 池 寿 命 ： 約1年
（単3アルカリ乾電池（LR6）を1個使用時）
（1日あたりライトを約3秒間、アラームを10秒間使用した場合）
受 信 機 能 ： ・自動受信… 1日7回
（受信から次の受信まではクオーツの精度で動作）
・手動受信… ボタン操作による
2つの電波（40kHz/60kHz）のうち最適な方を選択し、受信します。
時刻合わせ機能：電波受信による自動セット、または手動セット
※指針（針の表示）誤差について：構造上、若干の指針誤差が生じる場合があります。
※電池の寿命はご使用の条件によって変わります。

故障かな？と思ったときは

本製品が正常に動作しないときは、修理を依頼される前に、以下の表を参考に対処してください。なお、新しい電池と交換する場合は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症 状	考えられる原因	処 置
針が動かない	・電池が入っていない。 ・電池が正しい向きに入っていない。	・新しい電池を、向きを確かめながら入れて、RESET ボタンを押してください。
	・電池の端子や電池ボックスの接片が汚れている。	・電池の端子や電池ボックスの接片の表面を拭いてください。また、電池を入れて電池を2～3回転させた後、RESET ボタンを押してください。
	・電池の容量が少なくなっている。	・新しい電池を、向きを確かめながら入れて RESET ボタンを押してください。
針が「12時の位置」で停止している	・自動または手動による受信中である。	・受信が終了すると針が動き始めます。
	・ALARM スイッチが ON になっている。	・ALARM スイッチを OFF にすると秒針が動きます。
時刻が合っていない	・電波の受信が成功していない。	・『電波を受信できなかった場合』を参照し、再度受信させてください。
	・電池の容量が少なくなっている。	・新しい電池を、向きを確かめながら入れて、RESET ボタンを押してください。
	・きちんとリセットされていない。	・RESET ボタンを押してください。
アラームが鳴らない	・ALARM スイッチが OFF になっている。	・ALARM スイッチを ON にしてください。
	・静電気等による誤動作。	・電池を入れなおしてから RESET ボタンを押してください。
	・電池の容量が少なくなっている。	・新しい電池を、向きを確かめながら入れて、RESET ボタンを押してください。